

戸赤の山桜

下郷町の戸赤地区には、地元林業の中心地としての何世紀にもわたる歴史から、100 本以上の山桜があります。農民は、特定の木を保護するために「留め木」と呼ばれる伐採を禁止を行ってきました。この慣習は、地域の指導者が特定の樹種を伐採した人に厳しい罰を科した 1660 年頃に始まったと考えられています。やがて下郷町で採用され、200 年以上の歴史を持つ桜にも適用されました。この地域は冬が寒いので、桜は日本よりもやや遅く開花し、通常は 4 月下旬から 5 月上旬にピークに達します。厳しい冬の季節を迎えた後、春の訪れの前触れとして、住民たちは長い間ピンクの花を歓迎してきました。そして、戸赤の毎年恒例の山桜まつりは、訪問者に人気のある行事になっています。